

船舶事故調査報告書

令和4年9月14日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 佐藤 雄二（部会長）
 委員 田村 兼吉
 委員 岡本 満喜子

事故種類	乗揚
発生日時	令和4年4月5日 13時40分ごろ
発生場所	兵庫県神戸市神戸空港西岸 神戸第1南防波堤灯台から真方位160° 1,700m付近 （概位 北緯34°38.2′ 東経135°12.6′）
事故の概要	プレジャーボート ^{ヒメグ} Himeguは、東北東進中、消波ブロックに乗り揚げた。 Himeguは、船長が負傷し、船首部錨台に圧壊等を生じた。
事故調査の経過	令和4年4月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート Himegu、5トン未満 280-28172兵庫、個人所有 8.08m (Lr) × 2.86m × 1.50m、FRP ディーゼル機関2基、213.3kW（合計）、平成3年8月
乗組員等に関する情報	船長 66歳 二級小型船舶操縦士 免許登録日 令和3年10月21日 免許証交付日 令和3年10月21日 （令和8年10月20日まで有効）
死傷者等	軽傷 1人（船長）
損傷	船首部錨台に圧壊、船首部外板に亀裂、船底部に擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 3、視界 良好、 気温 約15℃ 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、回航の目的で、令和4年4月5日10時30分ごろ兵庫県西宮市所在のマリーナへ向けて香川県さぬき市所在のマリーナを出航した。 船長は、GPSプロッターを作動させ、約20ノットの対地速力で手動操舵により明石海峡航路を通過後、神戸市立須磨海づり公園南方沖で変針するつもりで、神戸空港に向けて左転した。 本船は、神戸空港に向けて東北東進中、船長が、操舵室で立った状

	<p>態で操船を続けていたところ、いつしか居眠りに陥り、13時40分ごろ神戸空港西岸の消波ブロックに乗り揚げた。</p> <p>船長は、顔面に衝撃を受けて目が覚め、本船が神戸空港の西岸に乗り揚げていることに気付き、118番通報を行った。</p> <p>船長は、目撃者からの110番通報により来援した消防艇に救助された後、救急車で病院に搬送され、右上眼瞼挫創と診断された。</p> <p>本船は、後日、神戸市所在のマリーナに陸揚げされた。</p> <p>(付図1 事故発生経過概略図、写真1 乗揚後の本船 参照)</p>
その他の事項	<p>本船の喫水は、船首約0.5m、船尾約0.7mであった。</p> <p>船長は、令和3年10月に小型船舶操縦士免許を取得して以降、本事故当日が初めての操船であった。</p> <p>船長は、本事故当日、十分な睡眠を取っており、操船中に眠気を感じていなかった。</p> <p>船長は、海上が平穏であり、航行に支障となる他船が見当たらず、操舵室内が暖かくて快適と感じており、また、初めての操船で出航後は緊張していたものの、明石海峡を通過後、見慣れた風景が見えてきて目的地に近づいたと思って緊張が解けたので、居眠りに陥ったのかもしれないと本事故後に思った。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、神戸空港に向けて東北東進中、船長が、操舵室で立った状態で居眠りに陥り、変針予定場所を通過して神戸空港に向けて航行を続けたことから、同空港西岸の消波ブロックに乗り揚げたものと推定される。</p> <p>船長は、眠気を感じていなかったものの、海上が平穏であったこと、航行に支障となる他船が見当たらなかったこと、操舵室内が暖かくて快適と感じていたこと、及び初めての操船で出航後は緊張していたものの、目的地に近づいて緊張が解けたことから、覚醒水準が低下し、居眠りに陥ったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、神戸空港に向けて東北東進中、船長が、操舵室で立った状態で居眠りに陥り、変針予定場所を通過して神戸空港に向けて航行を続けたため、同空港西岸の消波ブロックに乗り揚げたものと推定される。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 操船者は、眠気を感じていなくても居眠りに陥る危険性を考慮し、飲み物を飲んだり、身体を動かしたり、外気に当たったりするなど、居眠りを防止するための措置を採ること。

付図1 事故発生経過概略図

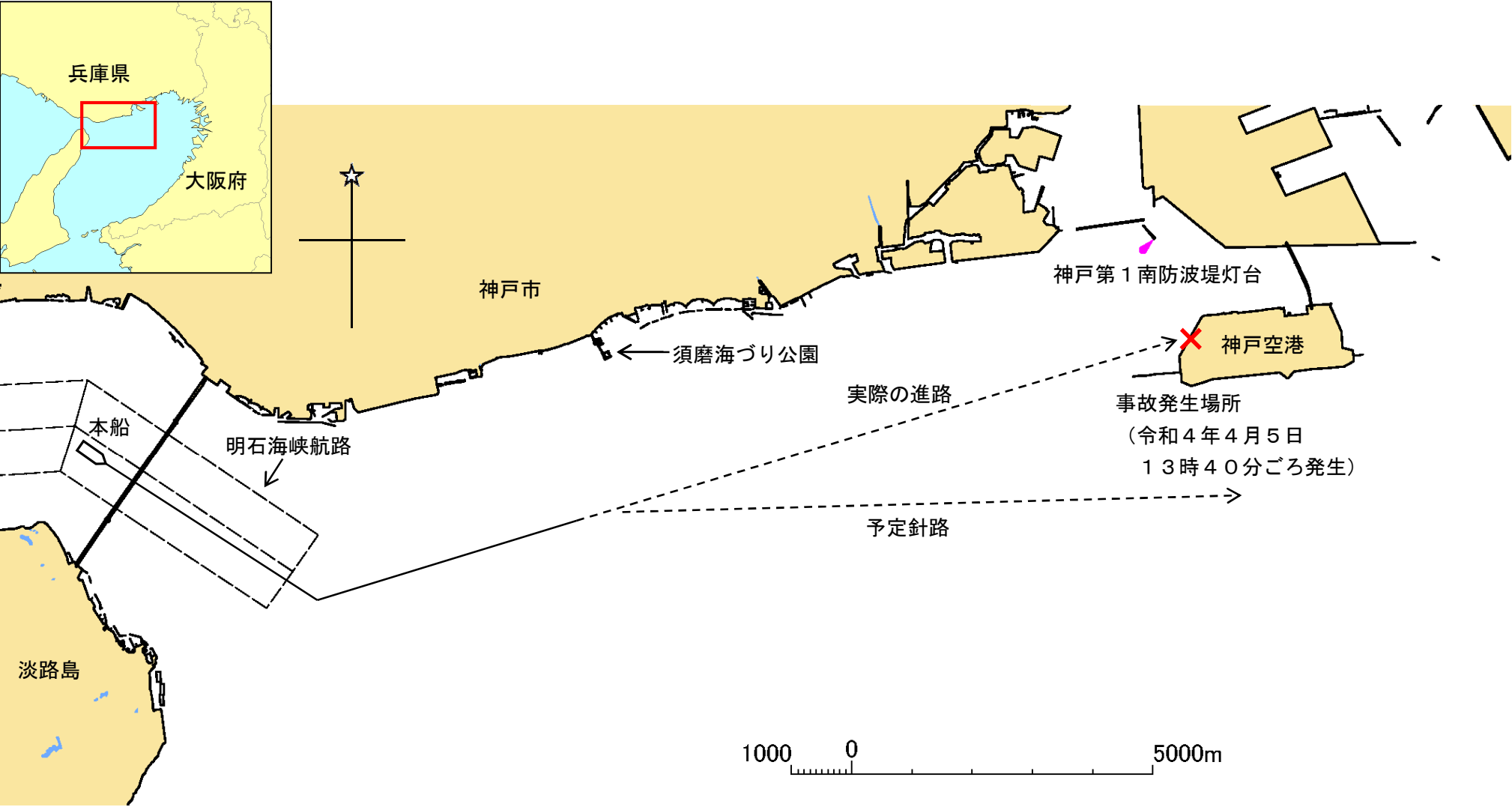


写真1 乗揚後の本船



海上保安庁提供